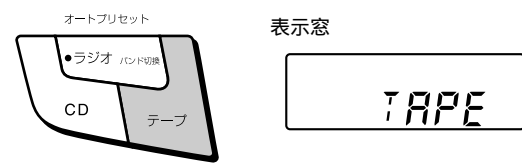
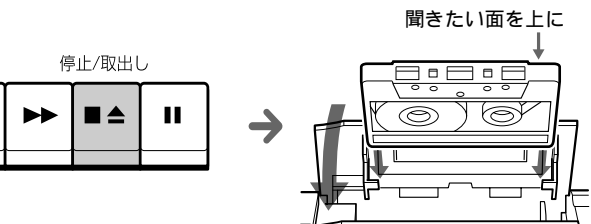


テープを聞く

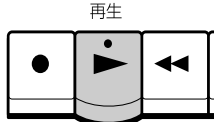
- 1** TAPEボタンを押す。
自動的に電源が入ります。



- 2** ■▲ボタンを押して、カセットを入れる。
カセットぶたを開ける。
TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。



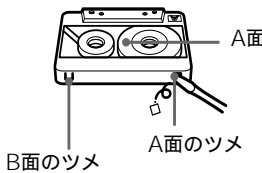
- 3** ▶ボタンを押す。



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量 +、-
再生を止める	■▲
早送りや巻戻しをする	▶▶または◀◀
再生中に一時停止する	 もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■▲
電源を入/切する	電源

大切な録音を守る一誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をゼロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

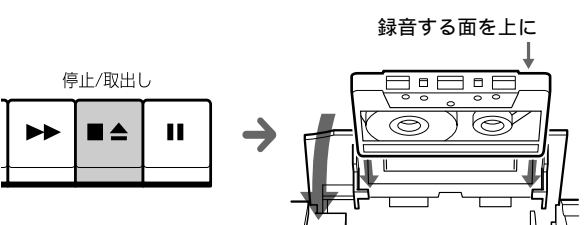


長時間テープをお使いのときは

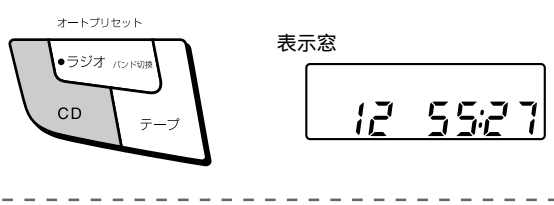
90分を超えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こまごまな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

録音する

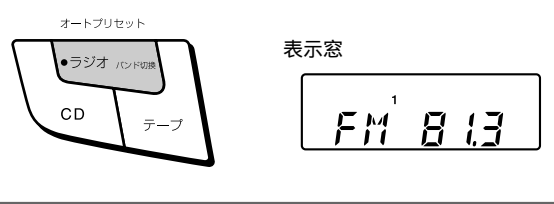
- 1** ■▲ボタンを押して、録音用カセットを入れる。
TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。



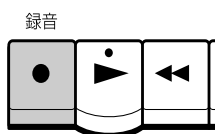
- 2** 録音するものを選ぶ。
CDを録音するとき
CDボタンを押して、CDを入れる(「CDを聞く」参照)。



ラジオを録音するとき
ラジオバンド切換・オートプリセットボタンを押して、録音する放送局を受信する(「ラジオを聞く」参照)。



- 3** ●ボタンを押す。
▶ボタンが同時に押され、録音が始まります。



こんなときは	押すボタン
録音を止める	■▲
録音を一時停止する	 もう一度押すと録音が始まる。
電源を入/切する	電源

ちょっと一言

- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 安定した状態で録音するために、録音時には家庭用電源に接続してお使いください。
- 録音した音を消去するには
 - 音を消したいテープを入れる。
 - テープボタンを押す。
 - ボタンを押す。

音楽を聞きながら眠る

- 1** 聞きたい音楽の演奏を始める。

スリープ

- 2** スリープボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。



- 3** スリープボタンを押して、時間(分)を選ぶ。
ボタンを押すごとに「60」→「90」→「120」→表示なし→「10」→「20」→「30」と変わります。



スリープ機能を途中で止めるには
電源ボタンを押して、電源を切ります。

ご注意

テープを聞きながらお休みになるときは
片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の演奏が終わるまで電源は切れません。

好みの音質で聞く

重低音を楽しむには

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示されます。通常の音質に戻すには、もう一度
MEGA BASSボタンを押します。

使用上のご注意

置き場所について

本機やカセットテープ、CD等を次のような場所には置かないでください。
・磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
・テレビの近く

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
 - 時計
 - クレジットカードなどの磁気カード
 - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを張ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

共通

電源が入らない。

- 電源コードをしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

音が出ない。

- 表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。
- 音量を調節する。
- ヘッドホンを(ヘッドホン)ジャックから抜く。

表示窓に「bAttErY」と「Error」が交互に点滅している。

- 乾電池の向きが正しくない 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

演奏が始まらない。
CDが入っているのに「no disc」が表示される。

- CDぶたが開まっていることを確認する。
- CDが裏返し 文字のある面を上にする。
- CDの汚れがひどい クリーニングする。
- レンズに露(水滴)がついている CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。
- CDボタンを押して「Cd」を表示させ、CDの操作ができるようにする。
- 本機ではCD-RWを再生できません。音がとぶ。
- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい クリーニングする。
- CDに傷がある CDを取り換える。
- 振動のない場所に置く。
- パソコンなどで記録したCD(CD-R)などは、音がとんだり雑音が入ることがあります。

ラジオ

FM受信時ステレオにならない。

- 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して、「ST」を表示させる。
- ステレオ演奏のときのみステレオで聞くことができます。

雑音が入る。

- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあり

- また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビまたは3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。

テープ部

操作ボタンを押してもテープが動かない。

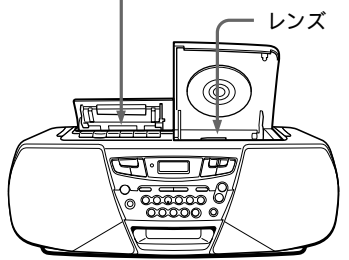
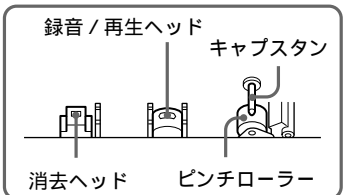
- カセットぶたをきちんと閉める。
- 録音ボタンが動かない。テープが演奏されない。
- デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をゼロハンテープなどでふさぐ。
- テープボタンを押して「TAPE」を表示させ、デッキの操作ができるようにする。

前の録音が完全に消えない。

- 消去ヘッドをクリーニングする。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

録音ができない。

- カセットを正しく入れる。
- デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をゼロハンテープなどでふさぐ。
- 雑音が多い。音質がよくない。
- ヘッドが汚れている。市販の綿棒や柔らかい布にクリーニング液を軽く含ませて、下図に示されているテープが触れる面を軽くふく。
- ヘッドが磁化されている。別売りのヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。



音が歪む。

- TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下(EIAJ*)
周波数特性	20 - 20,000Hz +1/-2dB (EIAJ)

ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76 - 108MHz (1 - 3CH) AM: 531 - 1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 10cm、 コーン型3.2φ、2個
早巻き時間	約2分(ソニーカセットテープC-60使用)
周波数範囲	TYPEI(ノーマル)カセット 70 - 10,000Hz (EIAJ)
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 16 - 68Ω
実用最大出力	2.3W + 2.3W (EIAJ/3.2φ)
電源	家庭用電源(AC100V 50/60Hz) 単1形乾電池6個使用 (DC 9V)
消費電力	14W

電池持続時間

使用乾電池	ソニーニューソニー	ソニースーパーアルカリ
測定条件	R20P	LR20
テープ再生時** (EIAJ)	約7.5時間	約15時間
FM録音時 (EIAJ)	約13.5時間	約20時間
CD再生時** (EIAJ)	約2.5時間	約7時間

* EIAJ(日本電気機械工業会)規格による測定値です。
** 音量6分目程度

最大外形寸法	約420×165×256mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部含む)(EIAJ*)
質量	本体 約3.5kg ご使用時 約4.1kg(乾電池、CD、テープ含む)
付属品	電源コード(1) 取扱説明書・保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

別売りアクセサリ

ヘッドイレーサー・クリーナー	HE-6C
クリーニングキット	KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

CD ラジオカセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-S22

Sony Corporation © 2000 Printed in China

CDラジオカセットコーダー

CFD-S22

T04-1001A-1

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●ナビダイヤル ☎0570-00-3311
(全国どこからでも国内通話料金でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は……………03-5448-3311
●Fax……………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、
土・日・祝日 9:00～17:00

Sony online

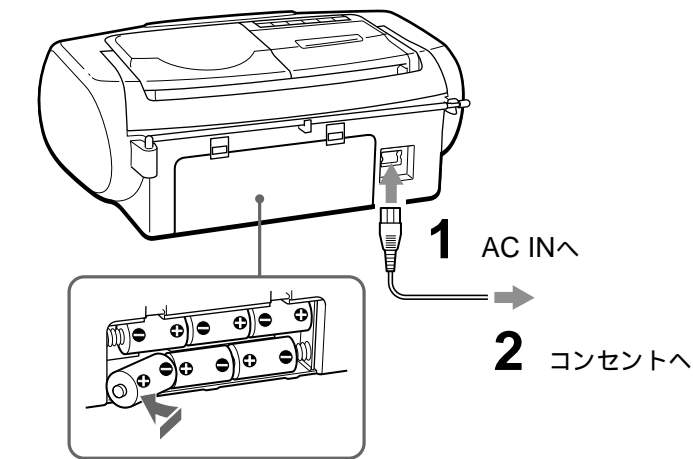
<http://www.world.sony.com/>

電源を準備する

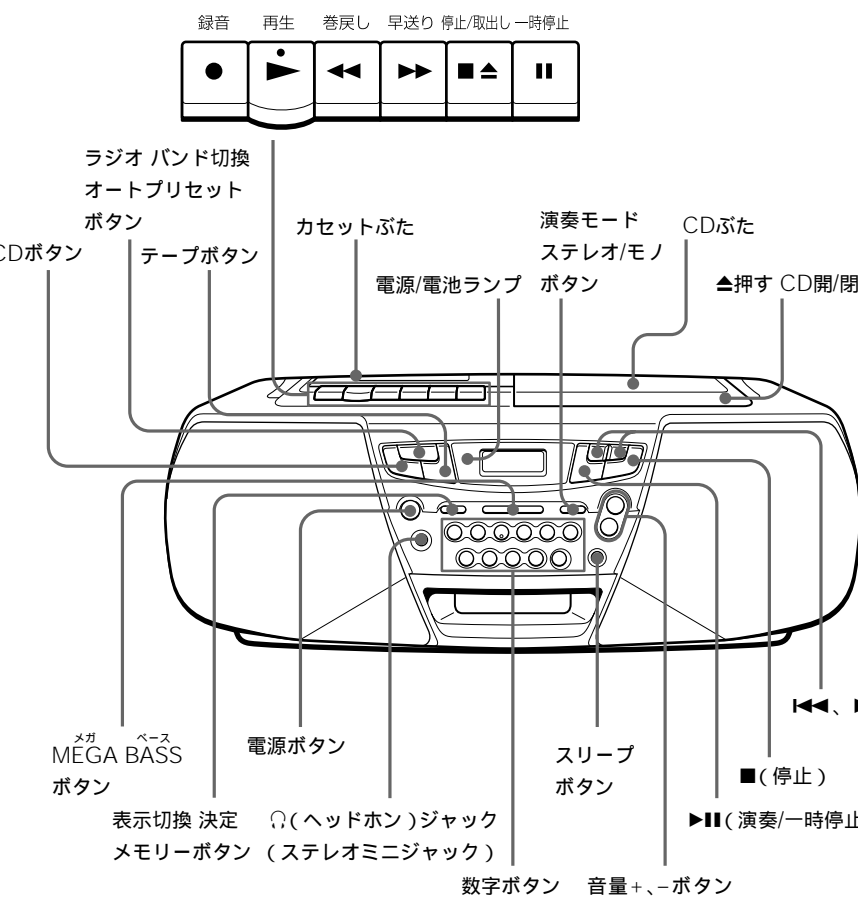
録音するときは、電力消費量が大きいので、家庭用電源でお使いください。

電源コードを接続する

本機のAC INジャックに差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。



各部のなまえ



ちょっと一言
ヘッドホンで聞くときは、ヘッドホン を (ヘッドホン)ジャックにつないでください。

乾電池で使う

単1型乾電池6個(別売り)を入れてください。乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。

乾電池の交換について
乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。

ちょっと一言
乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて傷つくおそれがあります。

CDを聞く

1 CDボタンを押す。
自動的に電源が入ります。

2 ▲押し CD開/閉を押して、CDぶたを開け、CDを入れる。

3 CDぶたを閉める。

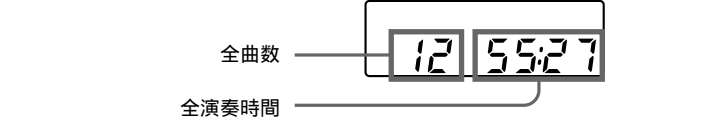
4 ▶▶ボタンを押す。
再生が始まります。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量+、-
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶▶ もう一度押しすと演奏が始まる。
次の曲へ進む	▶▶
曲の頭に戻る	◀◀
CDを取り出す	▲押し CD開/閉
電源を入/切する	電源

録音についてのご注意
・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前のために録りをしてください。
・CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

表示窓の見かた

全曲数と全演奏時間を調べるには
停止中、表示切換 決定・メモリーボタンを押す。



残り時間を調べるには
演奏中、表示切換 決定・メモリーボタンを押す。

表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間(通常表示)	3回

* 21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「---」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す	演奏中に▶▶または◀◀ ボタンを押したままにする。

表示窓の演奏時間を見ながら探す
一時停止中に▶▶または◀◀ ボタンを押したままにする。

ちょっと一言
11曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。
例：23曲目を選ぶには、>10 2 3の順に押します。

ご注意
曲番で直接選ぶ場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

繰り返し聞く(リピート演奏)

1 CDボタンを押す。

2 以下の操作をする。

リピートの種類	操作
1曲だけ繰り返す	1 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ。
全曲を繰り返す	1 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ▶▶ボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「SHUF REP」を表示させる。 2 ▶▶ボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「PGM REP」を表示させる。 2 プログラムしたい順に数字ボタンを押す(20曲まで)。 3 ▶▶ボタンを押す。

リピート演奏をやめるには
演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「REP」表示を消します。

順不同に聞く(シャッフル演奏)

- 1 CDボタンを押す。
- 2 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「SHUF」を表示させる。
- 3 ▶▶ボタンを押す。
演奏が始まります。
シャッフル演奏をやめるには
演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「SHUF」を消します。

聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム演奏)

- 1 CDボタンを押す。
- 2 演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「PGM」を表示させる。
- 3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。
20曲までプログラムすることができます。
- 4 ▶▶ボタンを押す。
プログラムした順に演奏が始まります。

プログラム演奏をやめるには
演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認するには
表示切換 決定・メモリーボタンを押します。
押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。
プログラムを変更するには
演奏前には1回、演奏中には2回、■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言
・プログラム演奏が録わっても、作ったプログラムは残っています。▶▶ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDぶたを開けると、プログラムの内容は消えます。
・プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、デッキに録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。

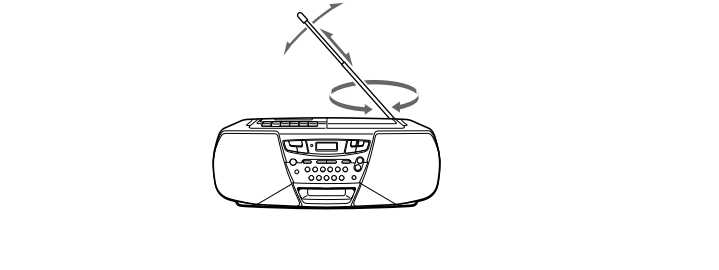
ラジオを聞く

1 ラジオ バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM1」、「FM2」または「AM」が出ます。切り換えるときはもう一度押します。

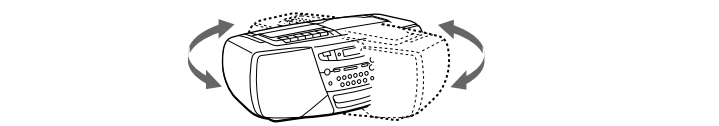
2 選局+または-ボタンを押したままにし、数字が動き始めたなら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、選局+または-ボタンを繰り返し押し、聞きたい局の周波数に合わせます。

受信状態をよくする
FM(TV1-3ch)放送のとき
ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送のとき
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



ちょっと一言
・FM1、FM2は同じ機能です。放送局を分けて記憶させるのに便利です(「放送局を記憶させる」参照)。
・本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。
AM、TV1-3のステレオ放送はモノラルになります。
・FMステレオ放送の雑音が多いときは、演奏モード・ステレオ/モノボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。

放送局を記憶させる

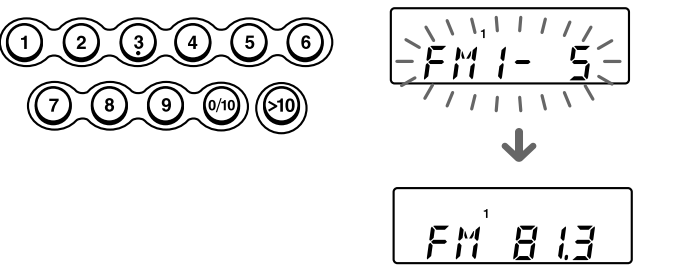
受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選ぶことができます。FM1、FM2、AM各局10局ずつ、合計30局まで記憶できます。

- 1 ラジオ バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
- 2 ラジオ バンド切換・オートプリセットボタンを約2秒間押ししたままにして、「AUTO」を表示窓に点滅させる。
- 3 表示切換 決定・メモリーボタンを押す。
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

ちょっと一言
FM1またはFM2を選んで自動的に放送局を記憶させると、最初の10局がFM1に、さらに10局がFM2に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

- 1 ラジオ バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
- 2 記憶させたい放送局を受信する。
- 3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押ししたままにする。



新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた放送局を聞く

- 1 ラジオ バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
- 2 数字ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

